

## 災害拠点病院(地域災害拠点病院)の指定に向けた進め方について

### 1 追加指定希望の医療施設の概要

名称	開設者	病床種別	2025年に持つべき病床数の方針 (病床数は暫定数)				
			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	計
開設年月日	所在地						
診療科目(出典:医療機能情報提供制度「医療情報ネット(ナビイ)」(根拠:医療法第6条の3))							
一宮西病院	社会医療法人杏嶺会	(一般)621床 (療養)180床	34床	537床	230床	—	801床
H21.11.23	一宮市開明字平1						
内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、脳神経内科、血液内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、外科、頭頸部外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門外科、心臓血管外科、脳神経外科、乳腺外科、内分泌外科、整形外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、臨床検査科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科							

### 2 災害拠点病院の種類とは

災害拠点病院は、基幹災害拠点病院、地域中核災害拠点病院及び地域災害拠点病院により構成されています。

#### (1) 基幹災害拠点病院

救命救急センターの指定を受けているものから選定し、平常時からの研修・訓練を通じて県下全域の災害医療体制の機能強化の役割を担います。

#### (2) 地域中核災害拠点病院

原則として救命救急センターの指定を受けているものから選定し、広域二次救急医療圏の災害拠点病院のとりまとめと機能強化を通じ、地域の災害医療体制を強化する役割を担います。

※1 広域二次救急医療圏……救急医療体制の基盤として、傷病の初期及び急性期症状の医療を担当し、第二次救急医療機関への選別機能を持ち、地域ごとに、休日夜間診療所及び在宅当番医制で対応している医療機関の後方病院の機能を有して、入院又は緊急手術を要する救急患者の医療を担当するいくつかの病院が共同連帯して輪番方式で対応する区域を県内15ブロックの広域二次救急医療圏として設定しています。

#### (3) 地域災害拠点病院

原則として新たに指定される災害拠点病院とし、地域中核災害拠点病院と連携して地域の災害医療体制の向上に努める役割を担います。

### 3 県の指定方針

(1) 目標値……平成18年9月11日 医療審議会医療体制部会承認 (R4.4.1目標達成)

災害拠点病院……36か所

(基幹災害拠点病院 ……2か所)

(地域中核災害拠点病院 ……34か所 (人口20万人に1か所))  
地域災害拠点病院

(2) 令和4年度以降

具体的な方針(目標値)は定められていないため、地域の意向を踏まえ、個別に愛知県医療審議会5事業等推進部会で判断していくとしています。

※R6.4.1に稲沢市民病院及び蒲郡市民病院が、地域災害拠点病院に指定されました。

災害拠点病院……38か所

・基幹災害拠点病院 ……2か所

・地域中核災害拠点病院 ……22か所

・地域災害拠点病院 ……14か所

### 4 現状

当地域の<sup>※2</sup>災害医療の所管区域(尾張西部区域:一宮市、稲沢市、清須市、北名古屋市及び西春日井郡豊山町)においては、一宮市内で、一宮市立市民病院と総合大雄会病院の2病院が地域中核災害拠点病院の指定を受けています。稲沢市内で、厚生連稲沢厚生病院と稲沢市民病院の2病院が地域災害拠点病院の指定を受けています。

なお、清須市、北名古屋市及び西春日井郡豊山町内においては、災害拠点病院の指定を受けた医療施設はありません。

※2 災害医療の所管区域……震度6弱以上の地震が発生した場合、若しくは大規模災害が発生して所管区域としての医療に関する調整が必要となった場合に、医療に関する調整が円滑に実施できる体制の確保を図るために、愛知県地域防災計画に基づき愛知県災害対策本部の下に設置する保健医療調整会議が担う調整機能、運営体制等について検討する区域として、県内に11区域を設定しています。

※ 災害拠点病院の指定年月日

名称	地域災害拠点病院	地域中核災害拠点病院
一宮市立市民病院	H19.3.31	H22.5.1
総合大雄会病院	H19.3.31	H22.4.1
厚生連稲沢厚生病院	H21.4.1	—
稲沢市民病院	R6.4.1	—

## 5 背景

(1) 南海トラフ巨大地震発生時の被害想定や地震、津波及び液状化等の危険予測を基に、令和元年度に策定された<sup>※3</sup>医療救護行動マニュアルから、受援側と支援側という考え方が導入されました。尾張西部区域は、海拔ゼロメートル地帯が全域に広がっている海部区域(津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡大治町、海部郡蟹江町及び海部郡飛島村)に対して支援側に位置付けられるため、尾張西部区域だけでなく、海部区域の支援に向けた対応を含めた体制整備が求められています。

※3 医療救護行動マニュアル……南海トラフ巨大地震発生時における初動時の対応を中心に、職員向けのマニュアルとして示しています。

(2) 愛知県防災安全局では、南海トラフ地震等の発生に備えた施策として、大規模災害時に浸水が危惧されるゼロメートル地帯において、堤防沈下や津波による浸水被害から県民の命を守るため、浸水区域に残された人々をボートやヘリコプターにより、迅速に救助し、浸水区域外の避難所や病院等へ円滑に救出する際に必要となる<sup>※4</sup>広域防災活動拠点を県内に4か所整備する事業を推進しています。その内、海部区域の木曾三川下流域では、2か所の整備が進められています。

※4 広域防災活動拠点……木曾三川下流域(2か所)

・愛西市内(旧永和荘(県営老人休養ホーム)跡地)

令和5年3月18日供用開始

・弥富市内(海南こどもの国)

令和5年度実施設計

西三河南部地域(1か所)

・西尾市内(行用町)

令和6年度供用開始(予定)

東三河南部地域(1か所)

・豊橋市内(国道23号豊川橋料金所跡地)

令和5年度基本設計

(3) 各災害所管区域における災害拠点病院が有する一般病床(非稼働病床を含む)を人口1万人当たりの病床数で比較すると、尾張西部区域は20.8ポイントであり、県平均の28.8ポイントを下回っています。

また、県内の11災害所管区域では、下から2番目の状況にあります。

(4) 令和3年度までは、県は広域整備目標を進めていく必要から未指定地域での災害拠点病院の指定を優先させる方針でしたが、令和3年度をもって、広域整備目標が達成されたため、令和4年度から地域の事情に応じて、追加で指定することも可能となりました。

## 6 地域の意見集約の流れ

(1) 意見の提出について

愛知県災害拠点病院設置要綱(R3.7.2施行)第2条2において、「指定にあたっては、圏域保健医療福祉推進会議及び愛知県医療審議会5事業等推進部会の意見を聴くものとする。」と定められており、災害拠点病院がある市町村の所在する地域の圏域保健医療福祉推進会議の意見を聴くと整理されています。

今回の事案は、尾張西部圏域保健医療福祉推進会議(一宮市及び稲沢市)において意見を提出するものとなります。

(2) 意見集約の順序について

① 地域の関係機関等に対して協議を開始します。

↓  
地域の関係機関等とは……一宮市、稲沢市、清須市、北名古屋及び西春日井郡豊山町に  
関係する医師会、災害拠点病院(災害医療コーディネーター等)、行政機関(防災担当部門・保健医療部門)等になります。

②<sup>※5</sup> 地域災害医療部会において意見聴取を行います。

↓  
※5 地域災害医療部会……災害時の地域における医療調整に関すること等を検討するため、災害医療コーディネーター、地区の医療関係団体の者及び関係行政機関の者等により、定期的に協議を実施しています。

③ 地域災害医療部会において賛成となった計画については、圏域保健医療福祉推進会議  
↓  
で地域の意見を集約していきます。

④ 圏域保健医療福祉推進会議で集約した地域の意見を愛知県医療審議会5事業等推進部会(事務局:県医務課)へ提出し、意見を聴いていきます。

※ 参考

災害拠点病院として、知事の指定を受けた後に、尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会において、具体的対応方針の役割の協議を予定しています。

災害拠点病院の県内の指定状況等 (R6.10.1 現在)

二次医療圏	災害所管区域	広域二次救急医療圏			災害拠点病院の状況			災害拠点病院名(開設者等) ●は、基幹災害拠点病院(2か所) ◎は、地域中核災害拠点病院(22か所) ○は、地域災害拠点病院(14か所)
		名称	地域	人口	病院数	一般病床 病床数	万対比	
名古屋・尾張中部	名古屋	名古屋A	千種区・昭和区・守山区・名東区	612,644	3	2,344	38.3	◎名古屋市立大学医学部附属東部医療センター((公立大名市大)/(地)) ◎(日赤)愛知医療センター名古屋第二病院((日赤)/(地)) ○名古屋大学医学部附属病院(国立大学法人東海国立大学機構/(特))
		名古屋B	東区・北区・西区・中区	503,555	2	1,118	22.2	◎(独)国立病院機構名古屋医療センター((独)国立病院機構/(地)) ○名古屋市立大学医学部附属西部医療センター((公立大名市大)/(地))
		名古屋C	瑞穂区・南区・緑区・天白区	648,563	3	1,849	28.5	◎名古屋市立大学病院((公立大名市大)/(特)) ◎(独)地域医療機能推進機構中京病院((独)地域医療機能推進機構/(地)) ○名古屋記念病院(社会医療法人名古屋記念財団/(地))
		名古屋D	中村区・熱田区・中川区・港区	566,502	3	2,010	35.5	◎(日赤)愛知医療センター名古屋第一病院((日赤)/(地)) ◎名古屋掖済会病院(公益社団法人日本海員掖済会/(地)) ○(独)労働者健康安全機構中部労災病院((独)労働者健康安全機構/(地))
		計		2,331,264	11	7,321	31.4	
(尾張中部)	尾張西部	尾張西北部	清須市・北名古屋市・西春日井郡(豊山町)	168,429	0	0	-	◎一宮市立市民病院(一宮市/(地)) ◎総合大雄会病院(社会医療法人大雄会/(地)) ○厚生連稲沢厚生病院(厚生連) ○稲沢市民病院(稲沢市)
一宮市・稲沢市			372,927					
尾張西部			(一宮市)	131,490				
			(稲沢市)	小計 504,417	4	1,401	27.8	
				計 672,846	4	1,401	20.8	
海部	海部	海部	津島市・愛西市・弥富市・あま市・海部郡(大治町・蟹江町・飛島村)	319,220	2	886	27.8	◎厚生連海南病院(厚生連/(地)) ○津島市民病院(津島市)
尾張北部	尾張北部	尾張北部	犬山市・江南市・岩倉市・丹羽郡(大口町・扶桑町)	273,159	1	684	25.0	◎厚生連江南厚生病院(厚生連/(地))
		春日井小牧	春日井市・小牧市	449,334	2	1,072	23.9	◎春日井市民病院(春日井市/(地)) ◎小牧市民病院(小牧市/(地))
		計		722,493	3	1,756	24.3	
尾張東部	尾張東部	尾張東部	瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・長久手市・愛知郡(東郷町)	475,213	3	2,780	58.5	●藤田医科大学病院(学校法人藤田学園/(特)) ●愛知医科大学病院(学校法人愛知医科大学/(特)) ◎公立陶生病院(公立陶生病院組合/(地))
知多半島	知多半島	知多	半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・知多郡(阿久比町・東浦町・南知多町・美浜町・武豊町)	617,647	3	1,160	18.8	◎半田市立半田病院(半田市/(地)) ○公立西知多総合病院(西知多医療厚生組合/(地)) ○厚生連知多厚生病院(厚生連)
西三河北部	西三河北部	豊田加茂	豊田市・みよし市	476,631	2	1,127	23.6	◎厚生連豊田厚生病院(厚生連/(地)) ◎トヨタ記念病院(トヨタ自動車株式会社/(地))
西三河南部東	西三河南部東	岡崎額田	岡崎市・額田郡(幸田町)	423,292	2	1,080	25.5	◎岡崎市民病院(岡崎市/(地)) ○藤田医科大学岡崎医療センター(学校法人藤田学園/(地))
西三河南部西	西三河南部西	衣浦西尾	碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市	697,120	3	1,790	25.7	◎刈谷豊田総合病院(医療法人豊田会/(地)) ◎厚生連安城更生病院(厚生連/(地)) ○西尾市民病院(西尾市)
東三河北部	東三河北部	東三河山間	新城市・北設楽郡(設楽町・東栄町・豊根村)	48,813	1	199	40.8	○新城市市民病院(新城市)
東三河南部	東三河南部	東三河平坦	豊橋市・豊川市・蒲郡市・田原市	680,711	4	1,978	29.1	◎豊橋市民病院(豊橋市/(地)) ◎豊川市民病院(豊川市/(地)) ○(独)国立病院機構豊橋医療センター((独)国立病院機構) ○蒲郡市民病院(蒲郡市)
計				7,465,250	38	21,478	28.8	

用語説明  
(地)……………地域医療支援病院  
(特)……………特定機能病院  
(独)……………独立行政法人  
(日赤)……………日本赤十字社  
(公立大名市大)…公立大学法人  
名古屋市立大学  
厚生連……………愛知県厚生農業協  
同組合連合会

人口(出典:愛知県民文化局県民生活部統計課「愛知県の人口 愛知県人口動向調査結果 月報」)

尾張西北部広域二次救急医療圏以外の一般病床数はR5.10.1現在(出典:愛知県保健医療局健康医務部医務課「病院名簿」)